



# 統計スポット情報

No. 136

H19. 8. 31

福井県総務部政策統計課

## 福井県内高等学校出身者の大学等への入学状況

平成 19 年度学校基本調査<sup>(注1)</sup>の速報結果が公表されました。それによると、大学等<sup>(注2)</sup>進学率(現役)は、福井県 55.5%、全国 51.2%と過去最高を記録しました。

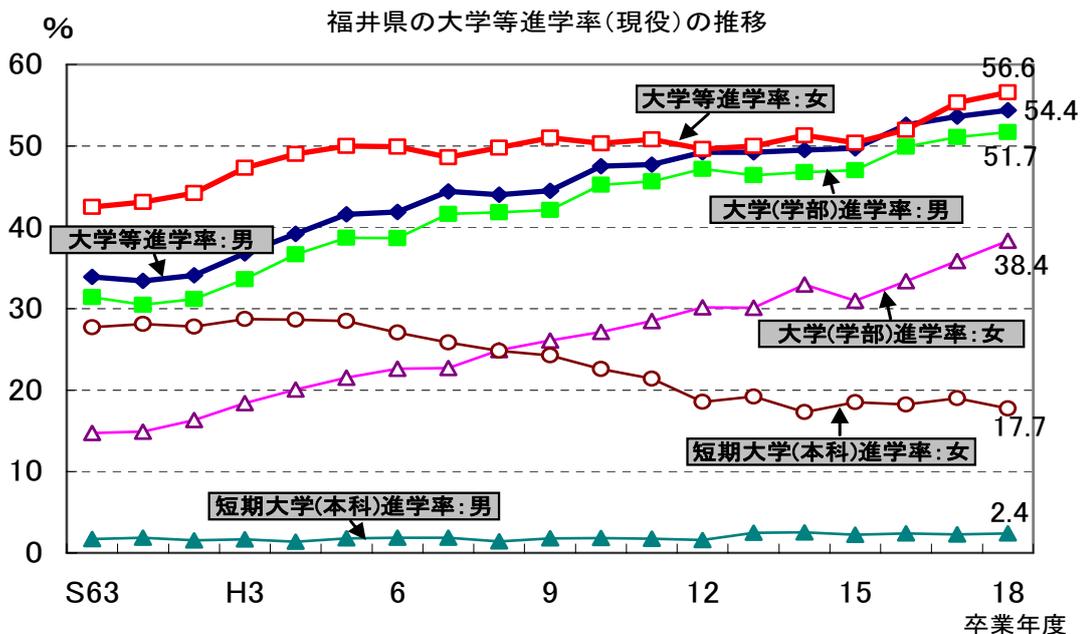
そこで、本県の現役生の進学率と過年度卒業生を含めた大学等への入学状況について、学校基本調査および進路実態調査<sup>(注3)</sup>からみてみましょう。

### ○現役生の大学(学部)への進学率が男女とも上昇

下のグラフは、現役生の大学・短期大学等の大学等進学率、その主な内訳として大学(学部、以下省略)進学率、短期大学(本科、以下省略)進学率の推移を男女別に表しています。

これをみると、男子は大学等進学者のほとんどが大学進学者で、大学進学率は上昇し最近では 50% を超えていることがわかります。

一方、女子の大学等進学率は男子より高くなっていますが、大学進学率は男子に比べて低く、短期大学進学率が女子の進学率を引き上げていることがわかります。ただし、この 20 年ほどで女子の大学進学率は 2.6 倍となっており男子の 1.6 倍と比べ大きく伸びています。

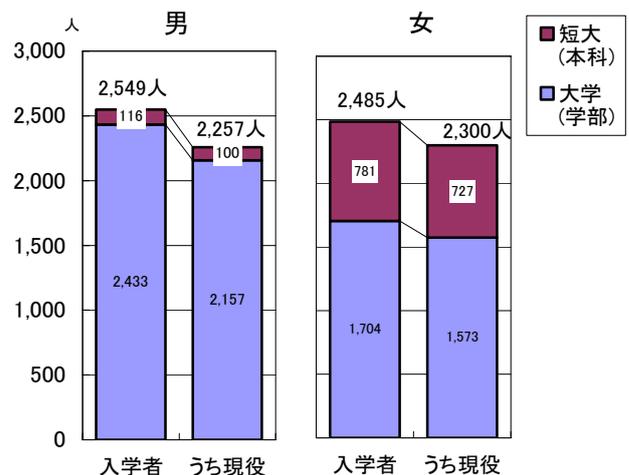


### ○平成 19 年度の大学および短期大学入学者

過年度卒業生を含む県内高等学校出身の平成 19 年度大学および短期大学入学者は、男子 2,549 人、女子 2,485 人の計 5,034 人となりました。(右図)

現役進学者との差は浪人生等の過年度卒業生を表しており、男子 292 人、女子 185 人で、入学者に占める割合は男子 11.5%、女子 7.4%となっています。

県内高校出身の大学・短期大学入学者数 (平成19年度)

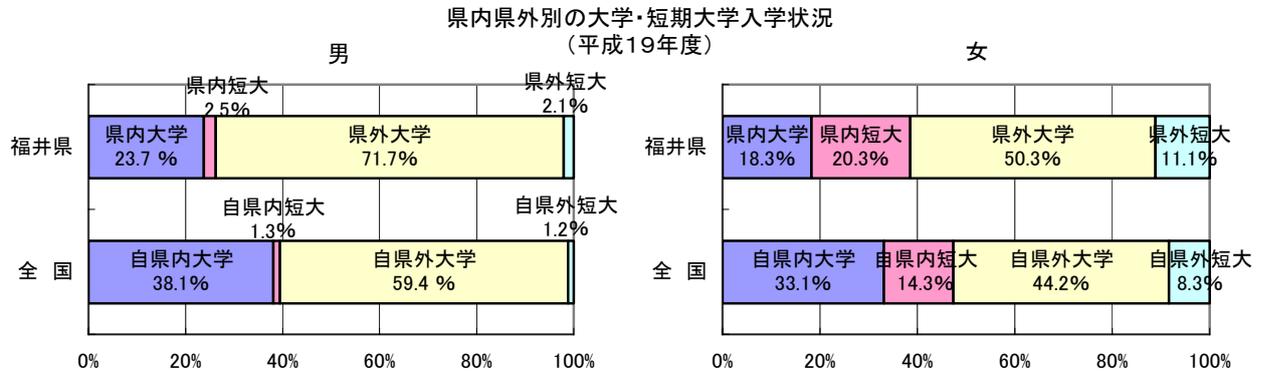


《裏面へ続く》

## ○全国より県外の大学入学者の割合が高い

福井県内高等学校出身者の大学および短期大学入学状況を男女別、県内・県外別に全国と比較すると、県外の大学入学者の割合は全国と比べると男子が12.3ポイント、女子が6.1ポイント高くなっています。

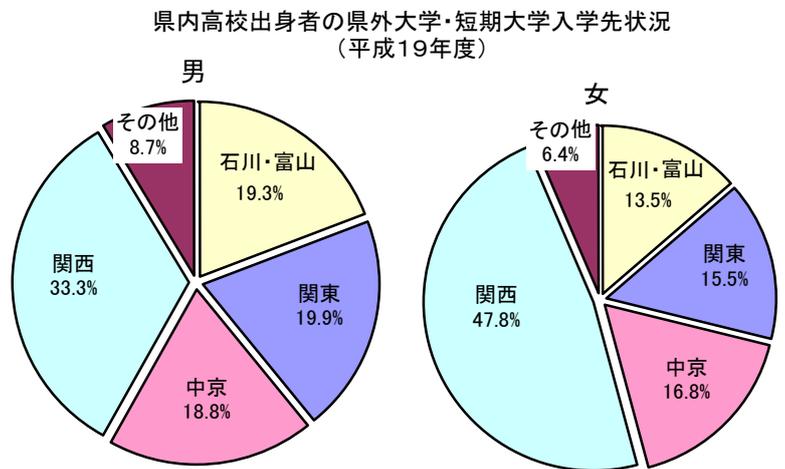
また、本県は全国と比較して短期大学入学者の割合が高く、特に女子の県内の短期大学入学者の割合は全国より6ポイント高くなっています。



## ○県外は関西への入学者が多い

福井県内高等学校出身者の県外の大学および短期大学入学先をみると、男子は関西への入学者が3分の1と一番多くなっていますが、石川・富山、関東、中京方面へもそれぞれ20%近く入学しています。

一方、女子は県外入学者の約半数が関西となっています。

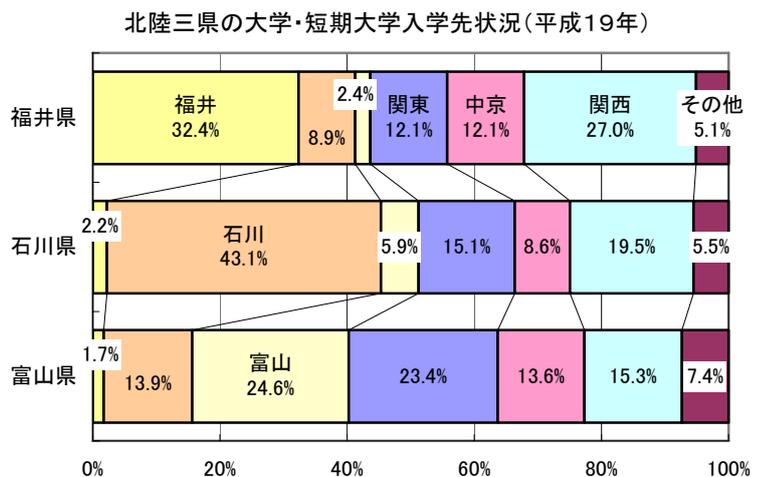


## ○北陸三県で異なる入学先状況

県内高等学校出身者の大学および短期大学入学先を石川県、富山県と比較してみると、自県内入学者の割合は、福井県32.4%に対し、石川県は43.1%と10.7ポイント高く、富山県は24.6%と7.8ポイント低くなっています。

また、県外の入学先は、福井県は関西が多くなっていますが、富山県では関東への入学者が一番多くなっています。

このように、入学先の状況は北陸三県でも県によってかなり違うことがわかります。



(注1) 学校基本調査は、文部科学省所管のもとに毎年実施される学校の基本的事項に関する調査。

(注2) 大学等とは、大学、短期大学（通信教育部、別科を含む）および高等学校専攻科をいう。

(注3) 進路実態調査は、県教育政策課が毎年実施している中学校・高等学校卒業者の進路に関する調査。

速報集計結果については <http://toukei.pref.fukui.jp/>、文部科学省ホームページを御覧ください。